

科目名	情報科学	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			経済学科	□ 必修 ■ 選択	
			教職（高商） 学科	■ 必修 □ 選択	
英文表記	AN INTRODUCTION TO INFORMATION SCIENCE	開講年次	■ 1 年 □ 2 年 □ 3 年 □ 4 年		
		開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中		
ふりがな	あべ ときお	実務家教員担当科目		修得単位	2 単位
担当者名	阿部 時男	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	コンピュータ、情報とその表現法、二進法、アルゴリズム、プログラム言語、データ通信、人口知能、				
到達目標	コンピュータはどのように動作するのか、また作られているかを学習し、その限界を知り、また最大限にどう活用することが、人間社会にとって有益なのかを学ぶ。				
授業概要	「情報」は生物系、人間社会系、機械系を貫き、それらを一本の糸で結びつける主要な理念として位置づけられている。したがって、生物系、人間社会系、機械系における情報の生成・伝達・改造・蓄積・利用等に関する共通の原理を研鑽しようとするものである。本講では以上の理念にもとづき、社会科学系学生諸君に関連の深い話題を選択しわかりやすく講義を行うものである。				
授業計画					
第 1 回	情報科学とコンピュータ（計算機械の発達）				
第 2 回	コンピュータの歴史 1（電気機械式計算機の誕生）				
第 3 回	コンピュータの歴史 2（電子式計算機 現代の計算機の誕生）				
第 4 回	メモリー素子とパソコンの誕生				
第 5 回	パソコンの誕生（パソコンとアップルコンピュータの誕生：ビデオ学習）				
第 6 回	情報の表現 1（文字、数字、2 進数）				
第 7 回	情報の表現 2（映像、符号化）				
第 8 回	コンピュータの計算論理 1、命題論理など				
第 9 回	コンピュータの計算論理 2、加算回路など				
第 10 回	プログラミングの基礎（B a s i c）				
第 11 回	人間の脳とコンピュータの違い（ビデオ学習）				
第 12 回	オペレーティングシステム（コンピュータとパソコン OS）				
第 13 回	オペレーティングシステム（プロセス管理、記憶管理、）				
第 14 回	コンピュータネットワーク				
第 15 回	データベースシステムとパソコン（インターネット）				
第 16 回	定期試験				
授業時間外の 学習	普段、新聞やテレビ等で報道されるコンピュータをテーマとする記事や番組に慣れ親しむこと。				
履修条件 受講のルール	「コンピュータ入門」など情報リテラシー関連の基礎科目を履修すること				
テキスト	石田晴久「情報科学の基礎」 実教出版				
参考文献・資料	「教養のコンピュータサイエンス 情報科学入門」小館香椎子、他 丸善				
成績評価の方法	期末試験、プログラミング課題 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。				
オフィスアワー	水曜日午前中				

成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	コンピュータ関連基礎科目を履修すること。授業は教科書に従いOHPを用いて進める。また、その補充として教科書を購入すること。授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。